

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月31日

上場会社名 株式会社アトム

（コード番号：7412 東証第二部）

（URL <http://www.atom-corp.co.jp/ja/index.html>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 植田 剛史

責任者役職・氏名 取締役 野原 滋公

TEL：(052) 249-5225

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 - 1 有価証券の時価評価は中間期・期末のみに行っております。
 - 2 その他影響が軽微なものについて一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 - 1 当期より減損会計の適用を行っております。
 - 2 当期より社債発行費を支出時全額費用処理から3年間均等償却に変更しております。
 - 3 当期よりポイント引当金を計上しております。
 - 4 当期より投資有価証券売却益を特別損益の区分から営業外損益の区分へ変更しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結（除外）1社（連結子会社の吸収合併による減少）

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第3四半期	18,847 △7.3	223 —	297 —	△8,766 —
17年3月期第3四半期	20,331 △4.7	— —	— —	— —
（参考）17年3月期	26,760	△319	△220	△891

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	△512 15	—
17年3月期第3四半期	—	—
（参考）17年3月期	△86 03	—

（注）売上高以外の四半期経営成績の開示は当四半期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当連結第3四半期におけるわが国経済は、設備投資の増加、株価の上昇を背景に景気は回復基調にあり、個人消費も緩やかに回復に向かいつつあるものの、原油高、原材料価格の高騰等の不安要素を抱えたまま推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当該四半期において、新規にすし部門2店舗（直営店）の出店をいずれも11月に行いました。一方、閉店につきましては、すし部門4店舗（直営店）、レストラン部門5店舗（直営店4店舗、FC店1店舗）の合計9店舗を行いました。

また、関東・北海道地区の直営店16店舗（すし部門2店舗、レストラン部門14店舗）及び閉店店舗設備1店舗を株式会社コロワイド東日本へ譲渡しております。これにより同地区での直営店事業から撤退し、中京圏に事業を集約して活性化に努めました。

以上の結果、当連結第3四半期末の店舗数は、すし部門で直営店78店舗、FC店31店舗の合計109店舗、レストラン部門で直営店93店舗、FC店17店舗の合計110店舗、合計で直営店171店舗、FC店48店舗の219店舗となっております。

連結業績では、当連結第3四半期迄の累計値で、売上高は188億47百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は2億97百万円、四半期純損失は87億66百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	14,508	2,237	15.4	20 52
17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 17年3月期	20,180	7,014	34.8	679 00

(注) 当四半期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当連結第3四半期末における総資産は145億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億71百万円減少いたしました。これは主に、固定資産について減損損失を60億29百万円計上したことによるものであります。

また、株主資本は22億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億76百万円減少いたしました。これは、減損損失74億68百万円を主とした特別損失89億46百万円の計上によるものであります。なお、債務超過回避のため平成17年7月に第三者割当増資による新株式の発行を行ったことにより、資本金は43億53百万円、資本剰余金は45億49百万円となり、前連結会計年度末に比べあわせて40億円増加しております。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書

以 上

[参考]

18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	24,372	460	△8,581

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） △404円02銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想は平成17年11月18日公表の業績予想と変更ありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
I. 流動資産	4,131	2,793
II. 固定資産	10,363	17,386
1. 有形固定資産	5,314	11,272
2. 無形固定資産	138	278
3. 投資その他の資産	4,910	5,836
III. 繰延資産	13	—
資産合計	14,508	20,180
(負債の部)		
I. 流動負債	6,632	6,344
II. 固定負債	5,639	6,821
負債合計	12,271	13,165
(資本の部)		
I. 資本金	4,353	2,353
II. 資本剰余金	4,549	2,549
III. 利益剰余金	△6,637	2,128
IV. その他有価証券評価差額金	149	158
V. 自己株式	△176	△175
資本合計	2,237	7,014
負債及び資本合計	14,508	20,180

(注) 平成 17 年 3 月期第 3 四半期においては、四半期連結貸借対照表を作成していないため記載しておりません。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四 半 期)	(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額
I. 売上高	18,847	26,760
II. 売上原価	7,715	10,947
売上総利益	11,132	15,813
III. 販売費及び一般管理費	10,908	16,133
営業利益又は営業損失(△)	223	△319
IV. 営業外収益	364	482
V. 営業外費用	291	383
経常利益又は経常損失(△)	297	△220
VI. 特別利益	45	73
VII. 特別損失	8,946	593
税金等調整前四半期(当期)純損失	△8,603	△741
税金費用	162	149
四半期(当期)純損失	△8,766	△891

(注) 平成 17 年 3 月期第 3 四半期においては、四半期連結損益計算書を作成していないため記載しておりません。